

- おおあみしらさと -



社協だより

ささえあう 福祉できずく まちづくり

令和5年1月

No.196

避難所の運営を体験しました ～避難所運営ゲーム(HUG)～



令和4年11月25日(金)、大網白里市ボランティア連絡協議会主催のボランティア講習会「避難所運営ゲーム HUG (Hinanzyo Unei Game)」が大網白里市中央公民館講堂で開催されました。

このゲームは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれた避難者カードを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。ゲームを通して避難者の状況を考慮しながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保等、グループで話し合いながら避難所の運営を学ぶことができます。4つのグループに分かれ、災害時を想定

して真剣に知恵を出し合いながら避難所の運営に取り組みました。参加者からは、「災害が発生し、いざ実際に避難所を運営するとなった時、今日の体験は大変参考になる」という声が聞かれました。

盲導犬をもっと知ろう! ～ボランティアのつどい～

みなさんは盲導犬についてどのくらい知っていますか？

目の不自由な人が行きたい時に行きたい場所に出かけられるように、盲導犬は障害物や段差を教えたりして、安全に歩くためのお手伝いをしています。大網白里市ボランティア連絡協議会では、盲導犬についての勉強会を開催します。当日は、実際に盲導犬が参加します。皆さん、ぜひご参加ください。

日 時：令和5年1月21日(土) 11:00

場 所：大網白里市保健文化センター 3階ホール

対 象：関心のある方どなたでも参加できます 参加費無料

※コロナウイルスの感染状況により中止になる場合がございます。



問い合わせ 社会福祉協議会 ☎ 0475 (72) 1995 FAX 0475 (72) 1996

発行

社会福祉法人 大網白里市社会福祉協議会
(社会福祉法人 千葉県共同募金会大網白里市支会)

〒299-3251 千葉県大網白里市大網131-2 ☎0475-72-1995 FAX 0475-72-1996
E-mail: mail@oamishakyo.com ホームページ: <http://www.oamishakyo.com>

福祉への永年の功績・ 共同募金への功労を称え表彰されました



代表して表彰状を受け取る山田繁子さん

○共同募金優良地区・団体

南今泉1区

山辺8区(南玉)

南飯塚区

◇千葉県共同募金会会長感謝状

○共同募金奉仕功労者

大脇 泉(駒込)

石井 正充(柳橋)

中田 典子(大竹)

矢部 春美(大網)

水島 陵子(季美の森南)

沖田 いく子(金谷郷)

小池 秀雄(季美の森南)

◇千葉県共同募金会会長表彰状

○共同募金奉仕功労者

内山 操(駒込)

石井 貞子(大網)

○共同募金従事功労者

山田 繁子(柳橋)

今井 洋一(駒込)



新年を迎えて



大網白里市社会福祉協議会
会長 永野 和子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

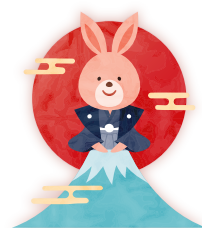
コロナウィルス感染がまだまだ終息する気配がない中ですが、規制が緩和され生活状況も変化してきています。

今年は安心な佳き年でありますようにと願います。

社協事業も、コロナ対策を充分に講じながら、皆様のご理解とご支援により推進することが出来ました。深く感謝申し上げます。

住民の方々が、安心して暮らせる地域づくりのための計画、第6次大網白里市地域福祉活動計画の策定も、令和5年度からの実施に向けて進められています。この計画を基に、住民の方々の福祉に取り組んで参ります。

皆様のご支援ご協力をお願いするとともに、新しい年がご健勝で幸せな年でありますようお願い申し上げます。



力を合わせて災害に備える

令和4年第43回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）

令和4年10月23日（日）、大網白里市において、第43回九都県市合同防災訓練（千葉会場）が開催されました。大網白里市社会福祉協議会は、大網白里アリーナで、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

五支部社協の皆さんを始め、SL災害ボランティアネットワーク、千葉レスキューサポートバイク、日本防災士会、日本赤十字社、千葉県及び千葉県社会福祉協議会職員等の方々に参加・ご協力いただきました。

ボランティア受付班、下見班（現地地下見調査）、マッチング班（活動先説明・案内）、資材班（資機材の貸出）に分かれ、震度6強の地震が発生し、建物の倒壊や液状化による道路破損等により下水道を含むライフライン機能が麻痺している想定で訓練を行いました。

遠くない将来に発生する可能性がある大地震に備え、日頃の備え・訓練の大切さを再確認しました。



災害ボランティアの受付



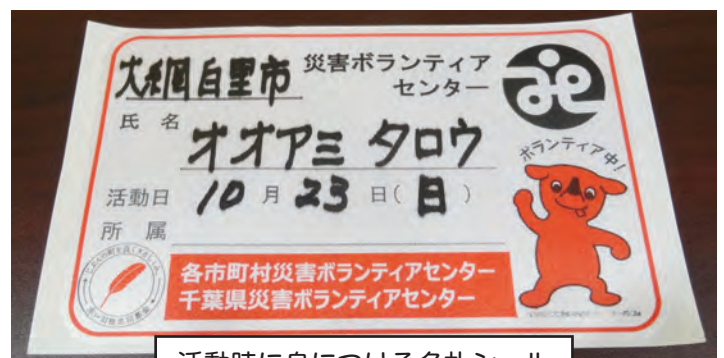
マッチング班からのニーズについて説明



スコップ等機材の受け渡し



いざ、出発です



活動時に身につける名札シール

福祉バザーにご協力ありがとうございました

産業文化祭で社会福祉協議会が行いました福祉バザーに品物をご提供くださった皆様、品物をご購入くださった皆様、心から感謝いたします。

ボランティアグループ「十日会」が作成した手芸品と社会福祉協議会のバザー物品の売り上げを合わせて 121,620 円になりました。

バザーの収益金は、社会福祉協議会の社会福祉事業資金として大切に使用させていただきます。



講師の服部先生



ささえあいのまちづくりフォーラム

令和4年11月8日(火)、大網白里アリーナで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、身近な地域での支え合い、助け合いについて市民の皆さんと考える『ささえあいのまちづくりフォーラム』を開催し、154名の市民の皆さんに参加いただきました。医療経済研究機構主席研究員の服部真治先生を講師に迎え、地域のささえあい活動が、今どうして必要になってきているか、わかりやすく説明していただきました。また、市内で高齢者の生活支援活動を行っている3つの団体の代表者から、日頃の活動、やりがいなどについて発表がありました。



参加者からは「老後に向けての道しるべとなる話で、大変参考になった」という感想が聞かれました。

大網白里市でも高齢化率が年々上がり続ける中、だれもが課題を“我が事”として考える有意義な機会となりました。



「子供職業体験ワークエキスポ2022」に参加しました

令和4年11月19日(土)に大網白里アリーナで行われた市商工会青年部主催「子供職業体験“大網白里市ワークエキスポ2022”」に、社会福祉協議会は大網支部と共にパラリンピック競技種目“ボッチャ体験”で参加しました。

ボッチャは、ヨーロッパで考案され、障がいのある方も高齢の方も、みんなが一緒に楽しめるスポーツです。ルールは、どれだけボールを的(ジャックボールと呼ばれる白いボール)に近づけることができるかを競うシンプルなものです。

240名のたくさんのお子もたちが参加し、大網支部の福祉協力員と一緒に夢中になってプレイしました。チームに点数が入るたびに歓声があがり、元気いっぱいにボッチャを楽しみました。

